

2022 年度 事業報告概要

1. 事業活動報告概要

2022 年度は「2022 年中期 3 ヶ年計画」の最終年度であり、この 3 年間の状況の変化も踏まえて、次項の重点項目を中心に活動を進めました。

2022 年中期 3 ヶ年計画

- ・ビジョン：抗菌、防カビ、抗ウイルス、抗バイオフィルムの多くの機能において、消費者の安心・安全・快適を提供する SIAA。
- ・基本方針：
 - ① SIAA マークの信頼性及び認知度の更なる向上
 - ② SIAA マークシステムのグローバル化の推進

2020 年からのコロナ禍により抗菌や抗ウイルス等の衛生的な環境への関心が高まり、SIAA の会員数はこの 3 年間で急増し、2022 年度末には 1,210 社となり、この 3 年間で約 3.6 倍となりました。

2022 年度も活動の一部が制限されましたが、柔軟な対応に努め、委員会活動や講習会等を会場とオンラインとの併用で開催しました。会員数の急増に伴い、事務局業務も増加したため、更なるデータベース化や RPA 化を進め、業務の迅速化と効率化に努めました。

会員数の急増等の SIAA の大きな環境変化も踏まえ、SIAA 将来構想（ビジョン、存在意義、行動方針）を議論し、それらを基に新中期計画を策定しました。

2. 重点活動項目

消費者に安心・安全の証として SIAA マークのついた加工製品を選択してもらうよう、新たな活動も検討しながら、SIAA マークの信頼性及び認知度の更なる向上に向けた活動を推進しました。また、抗バイオフィルム等の新機能マークに関する活動や中国 NGO 管理法への対応等も進めました。

(1) SIAA マークの更なる信頼性向上

会員数の増加やグローバル等に伴い、SIAA マークの社会的責任が高まっており、消費者からの信頼性向上を目的として定期的性能チェック制度を 2021 年度から開始しました。

2 年目となる本年度は、本制度の運営を担当する分科会を設置して進め、128 社（抗菌加工製品メーカー）を対象とし、基準を満たさなかった製品には改善を依頼しました。今後も課題を整理しながら、効果的な制度となるよう進めていきます。

紙印刷物の抗菌効果を評価できる適切な試験方法を検討しましたが、再現性等にややバラツキがあることから、今後も継続して検討することとしました。

また、入会時における登録製品に関する品質管理活動や製品広告等を確認し、必要に応じて品質管理や法令遵守の視点からのアドバイスを継続しました。

信頼性向上の一環として、国内外の化学物質管理に係る法令や規制等の把握に努めました。SIAA 防カビ剤ポジティブリスト掲載防カビ剤には、該当法令も登録しており、化管法等の化学物質管理に係る法令等の改正があり、防カビ剤登録メーカーに該当法令の確認を依頼しました。

(2) SIAA マークの更なる認知度向上

外部調査機関による認知度調査を実施した結果、「抗菌」の認知度は 96%、「SIAA マーク」は 36% で、「SIAA マークの内容認知」は 10% でした。今後、定期的に認知度調査を実施し施策等の有効性等を検討していきます。

会員企業と消費者の方々への情報発信ツールとして、SIAA 会報誌『暮らしの中の SIAA』を 4 月に発刊しました。会員の皆様にかなり好評だったため、11 月に第 2 号を発行しました。今後も会員の皆様のニーズも踏まえたコンテンツを企画し、タイムリーな情報発信に努めます。

SIAA ホームページに、抗菌、SIAA マークや SIAA マーク製品等を分かりやすく説明したランディングページを作成しました。該ページには、2021 年度に作製した SIAA 動画『Living in harmony 人と菌とのやさしい関係』への導線も設けました。SIAA 動画に関しては管理責任者講習会等でも説明し、会員企業がお客様への説明等で利用していただけるよう働き掛けました。

また、SIAA の日の設定や抗菌等の衛生を意識したキャラクターの検討を開始しました。

継続して出展している国際福祉機器展へは、Web も含めて出展しました。コロナ禍による制約はありましたが、抗菌・防カビ・抗ウイルス加工製品を PR し、SIAA マークの更なる認知度向上に努めました。

(3) 新機能マークの開発と検討（活動分野の拡大に向けた活動）

2020 年度に提案した抗バイオフィルム試験方法の国際標準化は、国際会議において FDIS (最終国際規格案) 段階に進むことが決議され、再現性等に関する参考データを追記した FDIS 案を提出しました。2023 年半ばには IS 発行となる見込みです。その試験方法を用いた抗バイオフィルム加工製品の登録制度も検討し、IS 発行に合わせて運用を開始できるよう進めています。

抗アレル物質は、4 種類の試験方法を検討した結果、いずれの方法でもバラツキが少なく評価方法として利用可能であることが分かりました。また、市場性もあることから、試験方法の標準化に向けて次のステップに進めることとしました。

抗ウイルス加工剤の登録及び ISO 21702 以外の試験方法（シェーク法）での抗ウイルス加工製品の評価方法の開発要望が会員企業からあり、検討した結果、いずれも再現性の高い試験方法をほぼ確立できました。2023 年度早々に試験方法を確定し、それらを基にした登録制度の運用を開始します。

(4) SIAA マークシステムのグローバル化の推進

WFAI (国際抗菌組織) の運用を検討する予定でしたが、中国 NGO 管理法（一般企業を除く非政府組織の中国での活動を規制する法律）への対応を、現地弁護士の意見も踏まえ、検討しました。SIAA として、中国企業に対する勧誘活動をしないこととし、具体的には、中国での展示会出展や講演等の活動を中止とし、また SIAA-HP での中国語での入会案内の掲示を削除しました。今後、グローバル化の方策を再検討していきます。

東アジア地区での展示会出展として、現地関係者の協力で台北プラスに出展し SIAA マーク制度を PR する機会としました。

以上

2022年度 収支決算
(2022年4月1日～2023年3月31日)

	2022年度 予算額 (円)	2022年度 決済額 3/31実績 (円)	比較増減	備考
	(A)	(B)	(B-A)	
収入の部				
年会費	144,500,000	137,407,877	△ 7,092,123	2021年度末会員数:1144社 国内 1031社 海外 113社 (正会員 1111、賛助会員 10 特別会員 10、準会員 13) 2022年度末会員数:1210社 国内 1083 海外 127 (正会員 1178、賛助会員 10 特別会員 10、準会員 12)
入会金	20,000,000	14,100,000	△ 5,900,000	入会141社(国内 120、海外 21)、 退会75社
講習会収入	3,500,000	2,979,615	△ 520,385	管理責任者、試験管理士フォローアップ研修
総会・懇親会参加費				
試験方法ISO化収入	2,600,000	2,399,407	△ 200,593	抗バイオファイルム
抗菌技能試験運営業務収入				
寄付金収入				
ホームページ広告収入	2,640,000	3,034,900	394,900	
生命保険料返戻金	0	11,557,500	11,557,500	
雑収入		43,381	43,381	
収入合計	173,240,000	171,522,680	△ 1,717,320	
支出の部				
諸会議費	3,000,000	3,303,220	303,220	総会、理事会等会議費
委員会活動費	36,190,000	38,156,497	1,966,497	別紙参照
業務委託費	26,200,000	20,427,045	△ 5,772,955	事務局人件費
旅費交通費	2,000,000	1,697,911	△ 302,089	事務局・講師交通費等
印刷費	500,000	4,080,037	3,580,037	総会資料等印刷費、コピー代
通信運搬費	800,000	568,956	△ 231,044	電話、郵送、HP接続料、
事務所費	8,700,000	9,197,529	497,529	事務局家賃
光熱水料費	500,000	532,301	32,301	光熱水道料
備品費	750,000	1,265,880	515,880	PC周辺機器、ソフト代、机等 旧事務所原状回復費
修繕費				
事務用品費	450,000	175,315	△ 274,685	文具代、コピー用紙、封筒代等
租税公課	5,000	47,300	42,300	
減価償却費	280,000	211,140	△ 68,860	
福利厚生費		53,390	53,390	健康診断関係
厚生費	200,000	190,000		表彰、報奨会員
図書費	100,000	161,848	61,848	新聞、学会誌、書籍代等
涉外費	800,000	802,500	2,500	国際会連等団体会費等
支払手数料	1,800,000	5,025,080	3,225,080	振込手数料、経費処理費
特別活動費				顧問等活動費、特別企画費
試験方法ISO化支出	2,600,000	2,146,109	△ 453,891	抗バイオファイルム
抗菌技能試験運営業務				
抗菌性能試験用等支出				
JIS改正原案作成支出		735,180		
定期的性能チェック制度	10,000,000	12,625,000	2,625,000	預り分相殺済
ホームページ管理委託費	3,000,000	3,899,615	899,615	
ホームページ改訂費	300,000		△ 300,000	
基準調査研究支出				
諸雑費	1,800,000	1,198,425	△ 601,575	事務局経費(販促品等含む) 商標(台湾) あHaha建設株式会社
貸倒損失		100,000	100,000	
予備費	100,000		△ 100,000	
社会保険料	1,800,000	2,114,385	314,385	健康保険、厚生年金保険
保険料	5,363,100	3,363,379	△ 1,999,721	傷害保険、生命保険
為替差損				
法人税等	21,800,000	19,583,600	△ 2,216,400	法人税率33%
支出合計	129,038,100	131,661,642	2,623,542	
収支差額	44,201,900	39,861,038	△ 4,340,862	
次期繰越金	44,201,900	39,861,038	△ 4,340,862	

2022年度 委員会活動費 決算

2023年3/31現在

別紙

支出の部

	2022年度 予算額 (円) (A)	2022年度 決算額 3/31現在 (円) (B)	比較増減 (B-A)	備 考
委員会活動費				
中期計画戦略委員会	100,000	446,603	346,603	
国際展開委員会	7,000,000	5,134,631	△ 1,865,369	
SIAA広報委員会	9,690,000	4,333,460	△ 5,356,540	
技術・制度運営委員会	4,600,000	6,086,070	1,486,070	
安全性委員会	50,000	168,080	118,080	
防カビ委員会	500,000	124,823	△ 375,177	
抗ウイルス委員会	3,500,000	4,171,265	671,265	
バイオフィルム標準化委員会	7,750,000	13,927,739	6,177,739	
抗アレル物質準備委員会	3,000,000	3,763,826	763,826	
合 計	36,190,000	38,156,497	1,966,497	